

GUARDIANWALL

全文検索システム

導入の手引き

Copyright © 2013 Canon IT Solutions Inc.

本マニュアルの一部あるいは全部について、キヤノンITソリューションズ株式会社の事前の承認なく、複製、転載することを禁止します。

<http://www.canon-its.co.jp/>

2013-Aug-30 GUARDIANWALL 全文検索システム V3.8

GUARDIANWALL 全文検索システム ライセンス控

本システムをインストールするサーバーホスト ID と、販売会社より発行されたライセンスキーを控えておいてください。

サーバーホスト ID	:
ライセンスキー	:
ライセンス種類	:

ライセンスの詳細については、本マニュアル「3 ライセンス登録」(20 ページ) をご参照ください。

はじめに

この度は、**GUARDIANWALL** 全文検索システムをご導入いただき誠にありがとうございます。本章では、本マニュアル『**GUARDIANWALL** 全文検索システム 導入の手引き』の使い方について説明します。

本マニュアルでは、**GUARDIANWALL** 全文検索システムを全文検索システムと略して表記する場合があります。また、本全文検索システムは、**GUARDIANSUITE** 管理サーバーにインストールされます。**GUARDIANSUITE** 管理サーバーのインストール方法につきましては製品に同梱しております『**管理サーバー 導入の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～**』をご覧ください。また、本マニュアルでは全文検索システムに固有の諸作業について説明します。**GUARDIANSUITE** 管理サーバーに関する操作方法、設定方法については、『**管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEB-GUARDIAN 共通～**』もあわせてご覧ください。

(1) 本マニュアルの使い方

本マニュアルは、**GUARDIANWALL** 導入後に全文検索システムを使用するために必要な諸作業、全文検索システムの操作方法について説明します。本システムをご利用前に、必ず、本マニュアルをお読みください。以下に、各章の概要を説明します。

1 準備 (10 ページ)

本全文検索システムをご利用いただくために、準備していただくことを説明します。

2 インストール (12 ページ)

本システムのインストール方法について説明します。また、インストール時の諸設定についても説明します。

3 ライセンス登録 (20 ページ)

本システムのライセンスキー登録方法について説明します。

4 アンインストール (22 ページ)

GUARDIANSUITE のアンインストール方法を説明します。

5 注意点 (24 ページ)

本システムの導入における注意点について説明します。

(2) 表記ルールについて

本マニュアルで使用している表記ルールについて説明します。

書体について

画面やファイル中のテキストは枠で囲い、以下のような書体で記述します。

書体	意味	使用例
あいう ABCabc123	画面上のコンピュータ出力	GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
あいう ABCabc123	ユーザーが入力する文字	# mv /usr/sbin/sendmail /usr/sbin/sendmail.OFF
あいう <i>ABCabc123</i>	コマンド行の変数部分	# rm filename # rm <ファイル>
あいう ABCabc123	ファイルやシステム中のテキスト	Top 5 合計メール数順 (total: 64)

マークについて

本システムを安全にご使用いただくため、守っていただきたい事項に次のマークを使用しています。必ずお読みください。

マーク	意味
	注意： システムの停止やデータの消去など、重大なトラブルを発生させる可能性があることを示しています。十分注意してください。
	情報： 操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

記号について

本マニュアルでは以下のような記号を使用しています。

記号	意味	使用例
『』	参照するマニュアル名を表します。 ※ただし、同じマニュアル内では省略します。	
「」	参照する章、節の番号と名称、 または、システム内のメニュー、項目、値、強調する語等を表します。	・『利用の手引き』の「1-1 機能」 (22 ページ) をご参照ください。 ・「新規インストーラ」を選択します。 ・MTA (Mail Transfer Agent)
()	ページ番号、または、補足内容を表します。	
[]	システム中のボタン名、リンク名等を表します。	・[設定] ボタンをクリックします。
【】	システム内のトップレベルメニュー、 タブメニュー名を表します。	・「状況確認」 - 【稼働状況】
\	画面例などで、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	・Enter your domain name \ [your.domain]: example.co.jp

設定例について

本マニュアルに記載されている IP アドレスやドメイン名、URL アドレスなどの設定例は、説明のためのものです。実際はそれぞれの環境に合わせた設定を行ってください。

(3) 管理画面名称

本システムは、ウェブブラウザ経由で操作できます。ウェブブラウザより本システムにアクセスした際、表示される画面を管理画面と総称します。

本節では各管理画面の名称について説明します。



ログイン画面：

ウェブブラウザより本システムにアクセスすると、この画面が表示されます。この画面から、各利用者別にログインします。

メニューフレーム：

各利用者が行うことのできる操作が表示されます。

利用者別トップページ：

ログインすると、各利用者別のトップページが表示されます。



操作画面：

各操作を行います。

表示（設定）/クリアボタン：

操作を実行、もしくはクリアするボタンは主に操作画面下中央に配置しています。

MEMO

目次

1 準備.....	10
1-1 全文検索システムとは.....	10
1-2 導入の前に.....	10
2 インストール.....	12
2-1 インストールプログラムの実行.....	12
2-2 製品の選択.....	13
2-3 インストール方法の選択.....	14
2-4 初期設定（新規インストール選択時のみ）.....	17
2-5 インストール完了.....	18
3 ライセンス登録.....	20
3-1 GUARDIANSUITE 管理サーバーへのログイン.....	20
3-2 ライセンスキーの入手.....	21
3-3 ライセンスの登録.....	21
4 アンインストール.....	22
4-1 全文検索システムのアンインストール.....	22
5 注意点.....	24
5-1 全文検索利用可能権限について.....	24
5-2 全文検索インデックスの削除.....	24
5-3 メールデータのバックアップ.....	25
5-4 全文検索インデックス最適化処理.....	25

MEMO

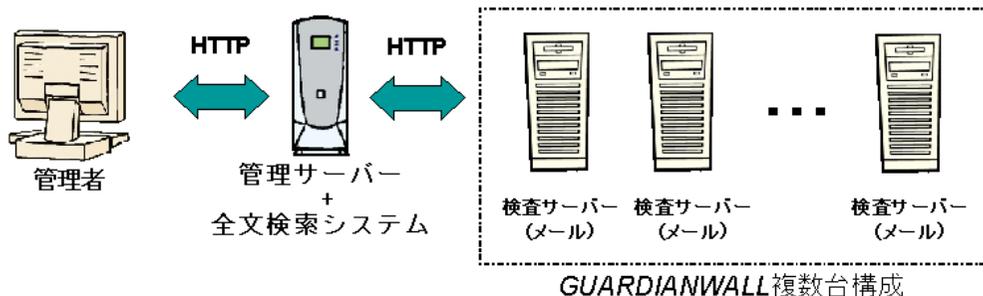
1 準備

本システムをご利用いただくために、必要な準備について以下に説明します。
本システムの導入作業を行う前にご用意ください。

1-1 全文検索システムとは

全文検索システムとは、**GUARDIANWALL**にて保存されたメールデータに対する全文検索の機能を提供する、**GUARDIANSUITE**管理サーバーのオプション機能となります。保存されたメールデータに対して検索用のインデックスを生成することで、高速な全文検索が可能になります。

本システムは非常に負荷のかかる全文検索処理を実施するため、**GUARDIANWALL** 検査サーバーと **GUARDIANSUITE** 管理サーバーは必ず別筐体に導入してください。全文検索システムと **GUARDIANWALL** 検査サーバーの関係図を以下に示します。



1-2 導入の前に

本システムを導入する **GUARDIANSUITE** 管理サーバーには、以下の2種類のライセンスが必要となりますので、ご注意ください。

- ・ **GUARDIANSUITE** 管理サーバーのライセンス
- ・ **GUARDIANWALL** 全文検索システムのライセンス

MEMO

2 インストール

本章では、**GUARDIANWALL** 全文検索システムをインストールする方法を説明します。以下の手順に従って本システムのインストールを行ってください。

2-1 インストールプログラムの実行

コンソールより、**root** 権限でログインします。

製品の CD-ROM をドライブにセットし、マウントします。

CD-ROM をマウントしたディレクトリに移動し、インストールプログラム **inst** をシェル (**sh**) で実行します。

```
# cd <CD-ROM をマウントしたディレクトリ>  
# sh inst
```

インストールプログラム実行後は、インストールプログラムの表示に従い、ソフトウェアのインストール作業を進めてください。



日本語表示できないコンソールの場合、英語メッセージが表示されます。EUC コードの表示可能なコンソール、端末エミュレータソフトをご利用ください。

コンソール画面の表示領域が狭い場合、正常に表示できない場合があります。コンソール推奨サイズは 80 桁 × 25 行以上です。

画面表示が正常にできない場合は、TERMCAP などの設定をご確認ください。

2-2 製品の選択

以下のメニューが表示されます。

GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版 Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.
1. <u>GUARDIANSUITE 全文検索システム V3.8</u>
2. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.6 plus 全文検索システム V3.8</u>
Q. <u>終了</u>
製品の番号を入力してください。(規定値 : [Q]uit)
入力 : ■

「1. GUARDIANWALL 全文検索システム V3.8」または「2. GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.6 plus 全文検索システム V3.8」のいずれかを選択します。

「1. GUARDIANWALL 全文検索システム V3.8」

- すでに **GUARDIANSUITE** 管理サーバーがインストールされているシステムに全文検索システムを追加インストールします。

「2. GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.6 plus 全文検索システム V3.8」

- **GUARDIANSUITE** 管理サーバーと全文検索システムをまとめてインストールします。「GUARDIANWALL 全文検索システム」からアップグレードする場合はこちらを選択してください。

2-3 インストール方法の選択

GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANSUITE (管理サーバー) 全文検索システムのインストール

1. 新規インストール
2. アップグレードインストール
3. アンインストール
- B. 戻る

実行したい項目の番号を入力してください。(規定値: [B]ack)

入力: ■

最初にインストールする場合は「**新規インストール**」を選択します。
すでに旧バージョンがインストールされているホストでアップグレードを行う場合は「**アップグレードインストール**」を選択します。

GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

新規インストール

インストールに必要なディレクトリ情報...

ディレクトリ名 : /opt
必須ディスク容量 : 1024MB
現在の空き容量 : 2383MB

このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています...

続行しますか? [y/n] ■

インストール方法の選択後、システム環境のチェックを行い、/opt や /var ディレクトリの空き容量が少ない場合は、エラーメッセージや警告メッセージが表示される場合があります。その場合は、インストールを中止して、必要なディスク空き容量を確保してください。インストールを続行すると導入するパッケージを表示します。

GUARDIANSUTE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

新規インストール

以下のパッケージがインストールされます。

GRDNcore	:	GUARDIANSUTE Core Package V4.6.00-000
GRDNlocal	:	GUARDIANSUTE Tools Package V2.1.04-000
GRDNperl	:	GUARDIANSUTE Perl Package V5.6.1-011
GRDNjre	:	GUARDIANSUTE J2RE Package V1.4.2-010
GRDNadmin	:	GUARDIANSUTE Admin Package V4.6.00-000
GRDNdb	:	GUARDIANSUTE Database Package V8.1.23-000
GRDNsrch	:	GUARDIANWALL Search Option Package V3.8.00-000

インストールを続行しますか？ [y/n] ■



ご使用のインストールメディアによっては、上記表示と異なるパッケージ名やバージョン番号が表示される場合があります。

導入パッケージ名の確認を求めるプロンプトを表示します。インストールを続行するとパッケージの導入を行います（アップグレードインストール時は、旧パッケージの削除を行ってから新パッケージの導入を行います）。



アップグレードインストール時、旧パッケージの削除を行う前にインストーラはスケジューラ JOB の実行確認を行います。JOB 実行中の場合はエラーメッセージを出力し、インストールを中止します。この場合はスケジューラ JOB の完了後、再度インストールプログラムを実行し、アップグレードインストールを行ってください。

GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

新規インストール

0% *****----- 100%

パッケージ <GRDNcore> をインストールしています...



ソフトウェアのインストールには、OSのパッケージ管理システムを使用しています。別のホストに導入したファイル一式をコピーした場合や、OSの再インストール後、ファイルだけリストアした場合、またOS上のパッケージ管理情報が失われている場合は、本処理でアップグレードインストールやアンインストールが実行できない場合があります。

2-4 初期設定（新規インストール選択時のみ）

パッケージの導入が終わると、続いて初期設定を行います（アップグレードインストール時は、旧バージョンの設定情報を引き継ぎますので初期設定作業はありません）。また、製品として「GUARDIANWALL 全文検索システム」を選択した場合も初期設定作業はありません。

■「GUARDIANSUITE（管理サーバー）plus 全文検索システム」の場合

管理者メールアドレス

管理者のメールアドレスを設定します。リターンキーのみを押すと、[] 内に表示されている値が設定されます。

本システムにより送信される各種通知メールのデフォルトの宛先に、この管理者メールアドレスが使用されます。

データベース格納ディレクトリ

データベースを格納するディレクトリを設定します。リターンキーのみを押すと、[] 内に表示されている値が設定されます。

GUARDIANSUITE（管理サーバー）で使用するデータベースがこのディレクトリに作成されます。

GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

新規インストール

初期設定を開始します...

AdminMailAddress : admin@example.co.jp
DatabaseDirectory : /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/

上記内容で良ければ [y] を、変更したければ [n] を入力してください

入力: ■

表示された内容で設定を実行する場合には「y」を、再入力するには「n」を入力します。「y」を入力すると初期設定の後、データベースの初期化が行われ、データベース格納ディレクトリにデータベースが作成されます。

2-5 インストール完了

本システムに必要な各種設定やサービスの起動を行います。

下記内容が表示されれば、インストール完了です。製品選択メニューに戻り、インストールプログラムを終了してください。

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

新規インストール

#####
GUARDIANSUITE V4.6 のインストールは成功しました。
全文検索システム V3.8 のインストールは成功しました。

管理者ページの URL http://192.168.0.1:8080/login/

管理画面より、管理サーバーライセンスを登録する必要があります。
#####

何かキーを押してください... : ■
```

何かキーを押します。

※インストール完了時の表示内容は、前述の「2-2 製品の選択」で選択した項目により異なります。

MEMO

3 ライセンス登録

本章では、全文検索システムのライセンス登録を行います。

初期インストール時では、ライセンスは未登録です。

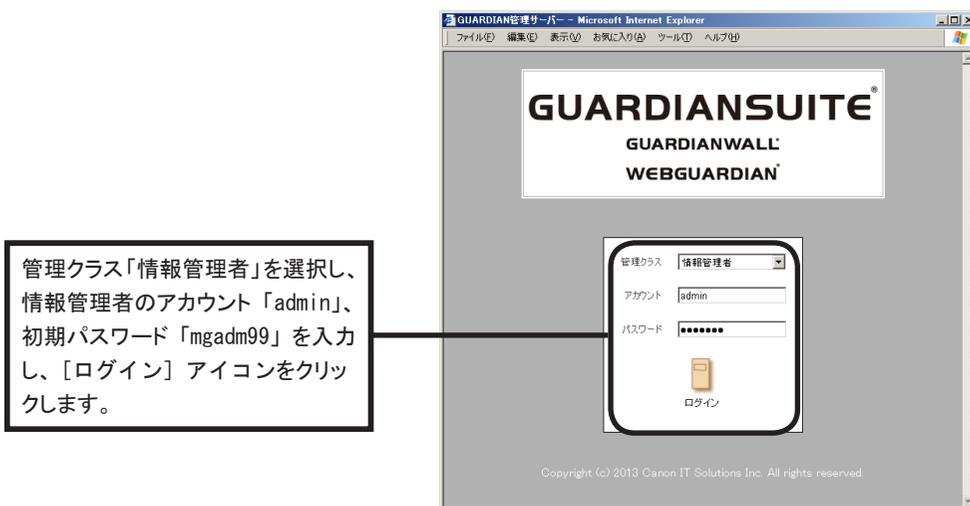
ライセンス未登録の状態では全文検索インデックスを生成することができません。また、ライセンスの有効期限が切れた場合も同様に全文検索インデックスの生成ができなくなります。

全文検索システム用のライセンスキーは、管理サーバーライセンスやメール検査サーバーライセンス、ウェブ検査サーバーライセンスとは異なります。また、ライセンスキーは1サーバーホストIDにつき1つだけ発行されます。複数のサーバーホストに同一ライセンスでインストールすることはできません。

3-1 GUARDIANSUITE 管理サーバーへのログイン

本システムに「情報管理者」としてログインします。

ログイン画面の管理クラスで「情報管理者」を選択、情報管理者のユーザーID「admin」を入力します。初期状態ではパスワードは「mgadm99」に設定されています。入力が終わりましたら[ログイン]アイコンをクリックしてください。ログインすると、情報管理者のトップページが表示されます。



ユーザーの認証が正しく行われると、情報管理者トップページが表示されます。

3-2 ライセンスキーの入手

情報管理者トップページ画面左側のメニューフレームより、【共通】 - 「管理サーバー管理」 - 「基本設定」メニューをクリックしてください。

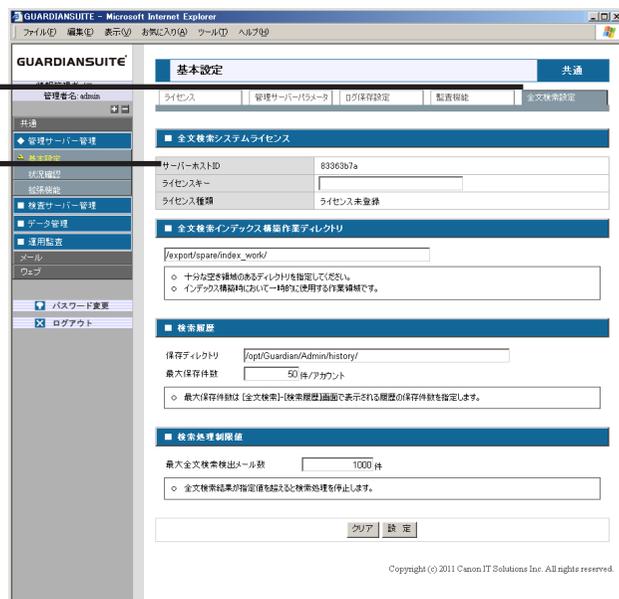
管理サーバーの設定画面にて【全文検索設定】タブを選択し、表示されているサーバーホスト ID を販売会社までメールにてお知らせください。折り返し、ライセンスキーをお送りいたします。

1. 【共通】 - 「管理サーバー管理」 - 「基本設定」メニューをクリックします。



2. 【全文検索設定】タブを選択します。

3. この「サーバーホスト ID」を販売会社までお知らせください。
※この「サーバーホスト ID」は hostid コマンドによって得られる値です。



3-3 ライセンスの登録

発行されたライセンスキーを入力し、画面下部の [設定] ボタンをクリックすると登録されます。

正しくライセンスが登録されると、ライセンス種類欄に「ライセンス登録済」と表示されます。

4 アンインストール

4-1 全文検索システムのアンインストール

以下の手順に従って本システムのアンインストールを行ってください。

コンソールより、root 権限でログインします。

GUARDIANWALL 全文検索システム CD-ROM をドライブにセットし、マウントします。
CD-ROM をマウントしたディレクトリに移動し、**inst** をシェル (sh) で実行します。

```
# cd (CD-ROM をマウントしたディレクトリ)
# sh inst # sh inst
```

画面表示に従い、ソフトウェアのアンインストール作業を進めてください。

- ・「**GUARDIANWALL 全文検索システム V3.8**」、または「**GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.6 plus 全文検索システム V3.8**」のメニューからアンインストールしたい製品項目を選択します。

「**GUARDIANWALL 全文検索システム V3.8**」を選択した場合は、**GUARDIANSUITE** 管理サーバーは削除されません。全文検索システムだけがアンインストールされます。

- ・製品項目別のメニューから「**アンインストール**」を選択します。

パッケージの削除後、検索履歴を削除するかどうか確認を求めますので、必要なら残します。

下記内容が表示されれば、アンインストール完了です。

GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アンインストール

```
#####  
GUARDIANSUITE のアンインストールは成功しました。  
全文検索システム のアンインストールは成功しました。  
#####
```

何かキーを押してください... : ■

5 注意点

5-1 全文検索利用可能権限について

全文検索システムを導入すると、ユーザーのメールオペレーション権限として「全文検索」が追加されます。

全文検索を利用するためには、ユーザーの権限として「全文検索」が「権限有り」に設定されている必要があります。

さらに、保存メールに対する全文検索の場合は「保存メールログ閲覧」が「権限有り」に、リストアデータに対する全文検索の場合は「リストアデータ閲覧」が「権限有り」に設定されている必要があります。

検索結果から、そのメールの本文を閲覧する場合には「保存メール本文内容閲覧」の権限を「有効」に設定してください。

情報管理者は、初期値として「全文検索」「保存メールログ閲覧」「リストアデータ閲覧」が有効になっています。部門情報管理者はいずれも無効になっています。各ユーザーの運用形態にあわせて、適切な権限を設定してください。

■ メールオペレーション権限の初期値

	情報管理者	部門情報管理者
全文検索	有効	無効
保存メールログ閲覧	有効	無効
保存メール本文内容閲覧	無効	無効
リストアデータ閲覧	有効	無効

5-2 全文検索インデックスの削除

全文検索インデックスは、保存されているメールアーカイブの期間と同一の年月日の分が保存されます。空き領域の不足によって、古いメールアーカイブが削除された場合は、対応する年月日の全文検索インデックスも削除されます。古い全文検索インデックスの削除は、スケジューラーで設定された全文検索インデックス作成のスケジュールで行われます。このため、全文検索の検索結果からメール本文内容閲覧を行ってもすでにメールアーカイブが削除されていて、本文内容閲覧ができない場合があります。

5-3 メールデータのバックアップ

メールデータのバックアップ時には、全文検索インデックスを指定することで、バックアップすることができます。

バックアップしたメールデータの全文検索インデックスは、リストア時に「**全てリストアをする**」を選択した時、または範囲指定で「**全文検索インデックス**」を選択した時に、リストアされます。

データのバックアップについては、『**管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～**』の「**3-2-3-1 バックアップ**」(97 ページ)をご参照ください。

データのリストアについては、『**管理サーバー 利用の手引き ～ GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN 共通～**』の「**3-2-3-2 リストア**」(101 ページ)をご参照ください。

5-4 全文検索インデックス最適化処理

全文検索システム Ver3.6 から、検索速度向上のために全文検索インデックス作成処理中にインデックスの最適化処理が追加されました。この結果として、インデックス作成時間が従来より 2 割ほど増大していますが、インデックス ファイルサイズは 40 % 程度減少し、検索時間は 50% 程度短縮しています。

インデックスの最適化処理を無効にして、Ver3.5 以前と同様の処理を行うことも可能です。設定方法については、『**GUARDIANWALL 全文検索システム 利用の手引き**』の「**5-3 サーバー設定ファイル**」(37 ページ)をご参照ください。

また、Ver3.5 以前に作成されていたインデックスファイルは、全文検索システムを Ver3.6 にバージョンアップしても自動では最適化されません。既存のインデックスファイルを最適化する場合は、『**GUARDIANWALL 全文検索システム 利用の手引き**』の「**5-4 インデックス作成コマンド**」(39 ページ)をご参照ください。